

ポスターセッションの概要

第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会等のポスターセッションで特別区制度の特徴、特別区と全国の自治体との連携について紹介しました。

平成28年8月19日（金）、20日（土）に大分県日田市（会場：日田市民文化会館「パトリア日田」）で行われた第32回全国自治体政策研究交流会議おんせん県おおいた日田大会・第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会のポスターセッションに参加し、今回は、主に以下の4つのテーマについて紹介しました。

- 「テーマ1 特別区の紹介、特別区と市の違い（特例）」
- 「テーマ2 東京23区の特徴（統計から見る特別区：人口）」
- 「テーマ3 特別区の地方版総合戦略から見た連携自治体数（延べ）」
- 「テーマ4 特別区全国連携プロジェクトの取組内容」

ポスターセッションとは、参加者が主体的に日頃の研究活動の内容や成果を紹介する場で、会場内に設置されていました。

また、当協議会で作成した書籍、資料等を配付しました。

【参考】にブースに立ち寄った方々の主な声

- 特別区が多くの都市と連携していることを初めて知った。特に、災害対応では連携が必要であることを認識できた。
- 大阪の一件から、東京の特別区に関心をもっており、協議会が発行した書籍はまとまっているので、戻ってから読んでみたい。



○特別区に住んでいたが、特別区と市の違いについて、知らなかった。今回、この内容から少しではあるが確認できた。

○連携を進めるためには、自分のところの地域を理解しておく必要があるが、特別区と何か連携を行うことを考えてみたい。等

現在、特別区は東京にしか存在しません。特別区についての理解はまだ十分得られていないと感じました。今後とも特別区の自治に関する調査研究と普及啓発活動に努めていかなければならないと再認識しました。

ご来場された方々から積極的な質問や意見をいただき、私たちにとっても大きな刺激を受け、改めて活動を見直す場ともなりました。